

2016年度 三橋 貴風客員教授 邦楽 特別講義

1. 日 時 : 2016年11月15日(火)13時30分～16時45分
2. 場 所 : F号館110教室
3. 対 象 学 生 : 邦楽 専攻・コース生 学内のみ他聴講可
4. 講 師 紹 介 : 三橋 貴風客員教授

東京生まれ。1980年 第1回リサイタルにおいての文化庁芸術祭優秀賞をはじめ、これまでに文化庁芸術祭大賞、大阪文化祭賞、横浜文化賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣賞、紫綬褒章など数々受賞。

古典のみならず現代邦楽演奏の第一人者であり、これまでに東京都響・BBC交響楽団・ベルリン・ドイツ交響楽団などとも共演、世界的尺八奏者として幅広く活動している。演奏だけでなく後進の指導にも力を入れており、近年には中国や台湾でも教授活動を行っている。

現在、琴古流尺八大師範。琴古流尺八貴風会家元。

5. 講 義 概 要 : 三橋貴風客員教授による現代邦楽演奏法

琴古流古典尺八奏者として、古典本曲だけでなく虚無僧尺八も習得され、伝統を守りながらも現代作品にも精通し、現代邦楽演奏の第一人者である三橋貴風先生に、今回は初期の現代邦楽の代表曲である船川利夫作曲「出雲路」を通して、作曲者自身から直接教わったことだけでなく、これまでの演奏活動の中で培った経験や息づかいを学生に教えていただくことを目的とする。

<主な講義内容>

- ・邦楽における「五線譜」演奏の注意点
- ・船川利夫作曲「出雲路」の作品について
- ・作曲者自身から受けた「出雲路」の表現
- ・尺八と箏、アンサンブル時の相互理解の重要性